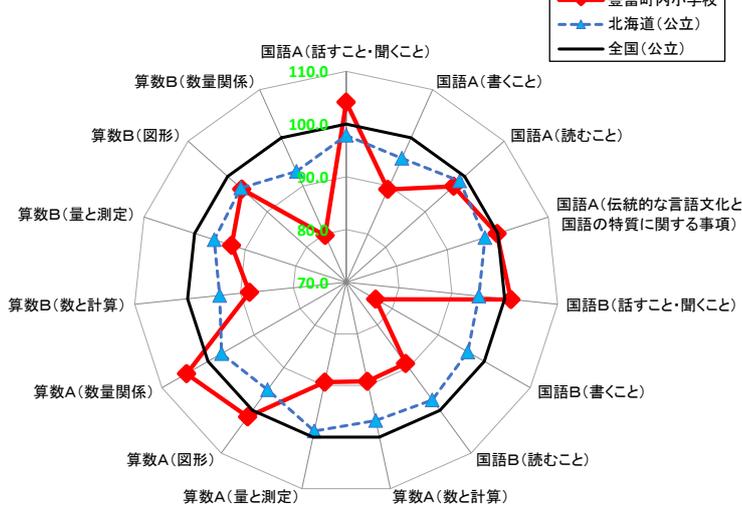


■ 豊富町内小学校の状況及び学力向上策 (学校数:2、児童数:40名)

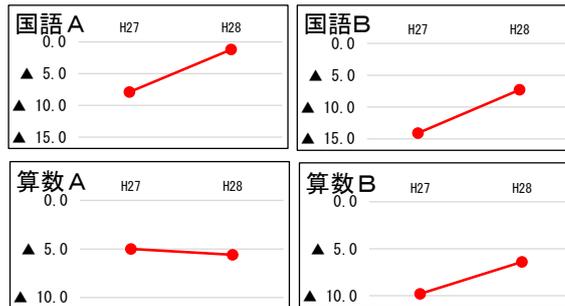
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

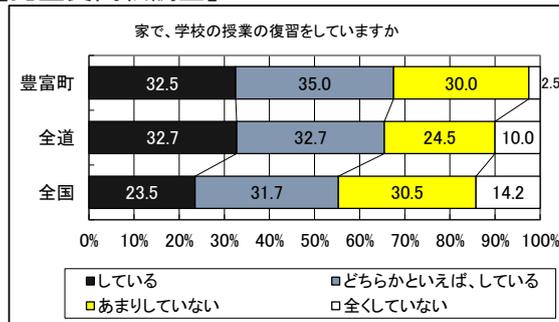


【平均正答率の全国との差の推移】

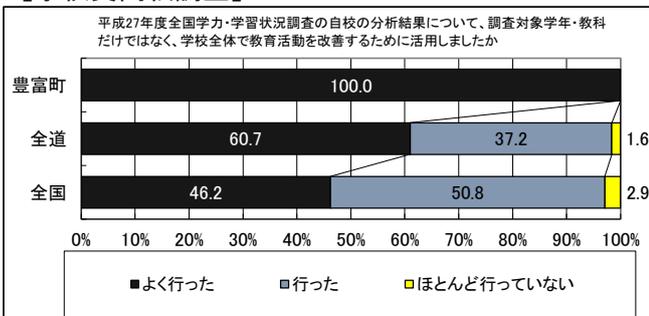


※「平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

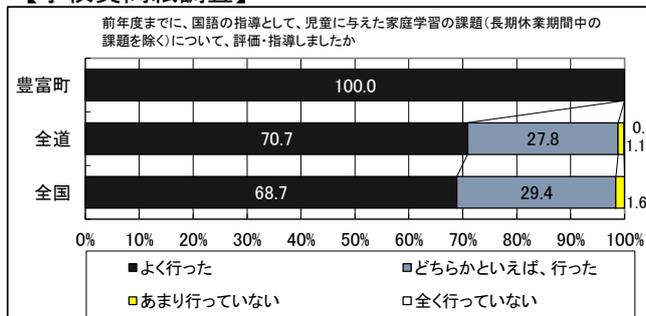
【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A・Bとも「話すこと・聞くこと」で、全国を上回っている。 ○ 算数Aでは「図形」、「数量関係」で、全国を上回っている。 ○ 平均正答率の全国との差の推移では、国語A・B、算数Bで、前年度を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の指導として、児童に与えた家庭学習の課題について、評価・指導や放課後の学習サポートを充実し、児童一人一人の学習の状況に応じたきめ細かな指導を徹底したことにより、国語A・Bで前年度を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の授業の復習をしていますか」という質問に、「している」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果等を踏まえた「学力向上プラン」を作成し、学校が一体となった組織的な取組を推進したことにより、全体として改善傾向が見られ、国語Aが全国とほぼ同じになったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「平成27年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか」という質問に、すべての学校が「よく行った」と回答している。 ○ 「前年度までに、国語の指導として、児童に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導しましたか」という質問に、すべての学校が「よく行った」と回答している。 	

【豊富町の学力向上策】

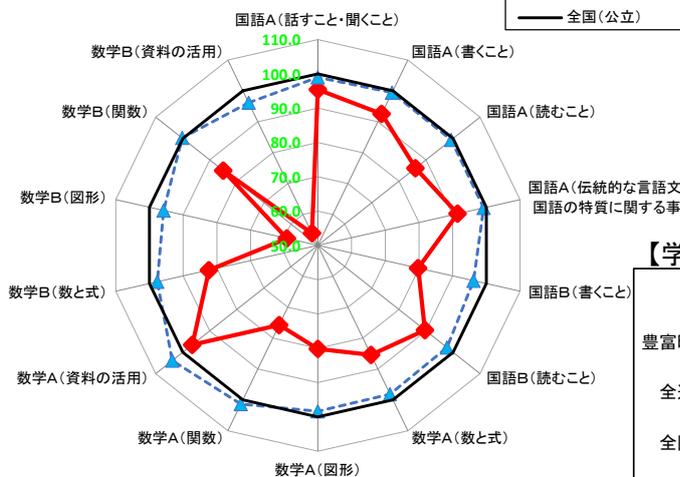
- ◎ 「学力向上プラン」を踏まえた組織的な取組
- ◎ ティーム・ティーチングや少人数指導、習熟度別指導など、指導体制の工夫
- ◎ 長期休業中における近隣大学と連携した算数教室の開催
- ◎ 地域の学力向上支援事業による授業改善の推進
- ◎ 学習支援助手(町費負担)の配置

■豊富町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2、生徒数:33名)

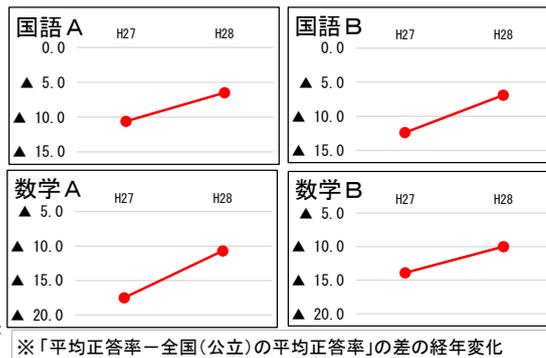
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

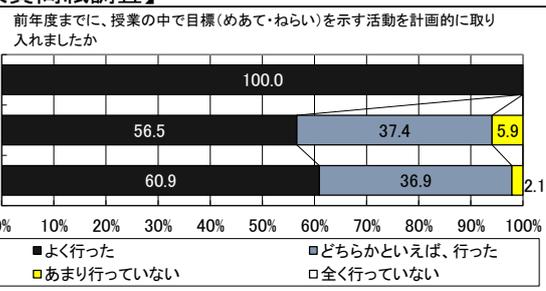
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



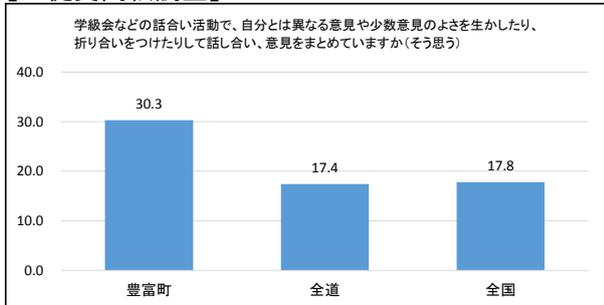
【平均正答率の全国との差の推移】



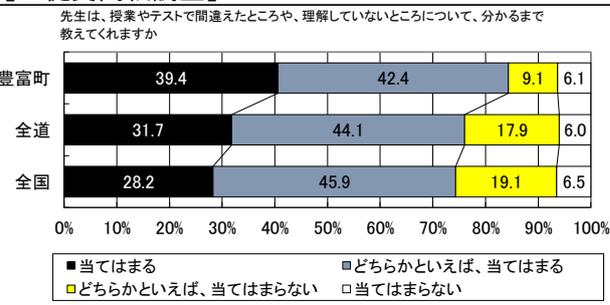
【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは「話すこと・聞くこと」、国語Bでは「読むこと」で、他の領域に比べ全国に最も近い。 ○ 数学Aでは「資料の活用」、数学Bでは「関数」で、他の領域に比べ全国に最も近い。 ○ 平均正答率の全国との差の推移では、すべての教科で、前年度を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけて話し合い、意見をまとめる活動を適切に行うことができるよう指導したことにより、思考力・判断力・表現力等を育む言語活動が充実し、すべての教科で前年度を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学級会などの話し合い活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか」という質問に、「そう思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてください」という質問に、「当てはまる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れ、生徒が見通しをもって学習活動を行うことができるよう授業改善を図るとともに、放課後の学習サポートや少人数指導など、生徒一人一人へのきめ細かな学習支援を充実させたことにより、すべての教科において、平均正答率の全国との差が前年度より縮まったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「前年度までに、授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れましたか」という質問に、すべての学校が「よく行った」と回答している。 	

【豊富町の学力向上策】

- ◎ 「学力向上プラン」を踏まえた組織的な取組
- ◎ ティーム・ティーチングや少人数指導、習熟度別指導など、指導体制の工夫
- ◎ 長期休業中における近隣大学と連携した数学教室の開催
- ◎ 地域の学力向上支援事業による授業改善の推進
- ◎ 学習支援助手(町費負担)の配置